

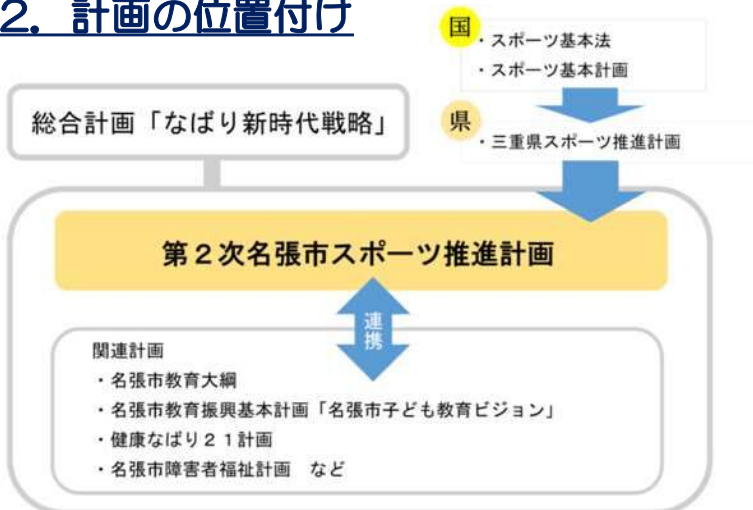
第2次名張市スポーツ推進計画（概要版）

計画策定に向けて

1. 計画策定の趣旨・背景

スポーツ施策を推進するに当たっては、社会情勢やライフスタイルの多様化など、スポーツを取り巻く環境や状況の変化に応じた柔軟な取組が求められています。これまでの成果や課題の検証とともに、スポーツに関する市民（団体）アンケートの分析や、国や県の動向を踏まえ、市民の誰もが、生涯にわたり主体的にライフスタイルに応じたスポーツ活動に親しみ、健康で、はつらつとした暮らしを営むことができる環境をつくるため、「第2次名張市スポーツ推進計画」を策定します。

2. 計画の位置付け



3. 計画の期間

2026（令和8）年度～2035（令和17）年度

R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
第2次名張市スポーツ推進計画									
前期期間					後期期間				

社会情勢の変化などを踏まえ、前期5年の最終年度となる2030（令和12）年度の時点で中間見直しを行います。



オリンピック選手を招待した
ホッケーイベント



名張青蓮寺湖駅伝競走大会

名張市のスポーツの現状と課題

1. スポーツを取り巻く状況

- (1) 人口減少・少子高齢化の進展
- (2) SDGsへの貢献
- (3) DXの進展
- (4) 人材育成、ライフスタイルの変化



名張市民ホッケー場

2. スポーツ推進計画の取組検証（課題）

- (1) スポーツに親しむ環境づくり
→ イベント等の周知、総合型地域スポーツクラブの認知度向上、シニアスポーツの環境づくり、老朽化した施設の整備
- (2) 競技スポーツの推進
→ 関係協会等と連携した選手の育成、第89回国民スポーツ大会の情報収集
- (3) 障害者スポーツの推進
→ 障害者スポーツのサポート体制や組織体制の充実、ユニバーサルデザイン化などの環境整備
- (4) 学校体育・スポーツの充実
→ 部活動の地域展開を見据えた体制の検討

計画推進のための施策

1. 基本理念

だれもがスポーツにふれ親しむ機会や環境を整え、未来を創る子どもを育み、いつまでもスポーツとともに人生を歩み、スポーツを通じて人と人、人と地域がつながる『スポーツを楽しめるまち なばり』の実現を目指します。

2. 目指す姿

『スポーツを楽しめるまち なばり』



3. 施策体系

4
つ
の
基
本
方
針

1. だれもが生涯を通じてスポーツに親しむ環境づくり

- スポーツ活動の機会提供
- 総合型地域スポーツクラブの支援
- シニアスポーツの充実
- 障害者スポーツの普及・啓発
- 多様なスポーツ機会の創出
- 地域スポーツを支える人材の育成、支援等



2. 未来を創る子どもの運動・スポーツの充実

- 子どものスポーツ活動の充実
- 運動部活動の改革



3. 夢をかなえる競技スポーツの推進

- 競技力の向上
- 指導者の養成、資質向上



4. スポーツを楽しむ施設整備と活用

- スポーツ環境の整備等
- 身近なスポーツへの利用促進



【本計画のKPI】

項目	現状値 2024（令和6）年度	目標値 2030（令和12）年度
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合	38.2%	48%
運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合 ※対象は児童（小学5年生）、生徒（中学2年生）	87.3%	90%
全国大会以上に出場する選手（団体）※延べ数	120件	130件
市民1人当たりの年間体育施設利用回数	4.8回	6回

計画の推進に向けて

